

# 健診結果に基づく従業員の治療状況と 健康経営の取組レベルの関連性

## 《先行研究》

「健診結果に基づく治療状態と健康経営の影響との関連性」

⇒健康宣言の有無によって、治療状態に関連があるかを分析した結果、以下のことがわかった。

- ・男女とも、未宣言事業所は、宣言事業所に比べて「未治療者」が有意に多い
- ・男女とも、未宣言事業所は、宣言事業所に比べて「異常なし」が有意に少ない

(R4.5.26 第95回 日本産業衛生学会で報告)

## 《今回の分析の趣旨》

先行研究で、「未宣言事業所では、未治療者が多く、異常なし者が少ない」ということが示されたが、健康宣言をしている事業所の中でも、取組状況や健康意識に差があることが考えられる。

そのため、今回の分析では、より細かく健康宣言の取組レベルを階層化し、治療状況に差があるかを確認することが目的である。

# 方法 - 1

## ◆対象者

広島支部加入者(被保険者)のうち、令和4年度に生活習慣病予防健診を受診した者

## ◆対象者の分類

健康経営の取組状況による分類 ⇒ 「取組レベルフラグ」

- ・健康経営優良法人2023認定法人の勤務者
- ・健康づくり優良事業所(5つ星)認定事業所の勤務者
- ・健康づくり優良事業所(4つ星)認定事業所の勤務者
- ・健康づくり優良事業所(3つ星)認定事業所の勤務者
- ・宣言事業所の勤務者
- ・未宣言事業所の勤務者

健診結果の分類 ⇒ 「治療フラグ」

- ・未治療者
- ・予備群
- ・治療中者
- ・異常なし者

### 未治療者

- 血圧(SBP:160mmHg以上 or DBP:100mmHg以上)
- 血糖値(FBS:126mg/dl以上 or HbA1c6.5%以上)
- 脂質(TG:300mg/dl以上 or HDL:35mg/dl未満 or LDL:180mg/dl以上)

いずれか1つ以上該当し、  
かつ問診で服薬なしと回答した者

### 予備群(未治療者を除く)

- 血圧(SBP:130mmHg以上 or DBP:85mmHg以上)
- 血糖値(FBS:100mg/dl以上 or HbA1c5.6%以上)
- 脂質(TG:150mg/dl以上 or HDL:40mg/dl未満 or LDL:140mg/dl以上)

いずれか1つ以上該当し、  
かつ問診で服薬なしと回答した者

### 治療中者

問診で服薬ありと回答した者

### 異常なし者

いずれにも当てはまらない者

## 方法 - 2

### ◆健康宣言の情報

令和5年9月末時点の情報

### ◆解析方法

・以下の手順にて男女別に検討を行った

#### ①ベースラインの比較

年齢、年齢階級… $\chi^2$ 検定、一元配置分散分析

治療状態… $\chi^2$ 検定

#### ②健康経営の影響について

目的変数に「各治療フラグ」、説明変数に「取組レベルフラグ」、「年齢区分」を入れた

多変量解析(二項ロジスティック回帰分析)

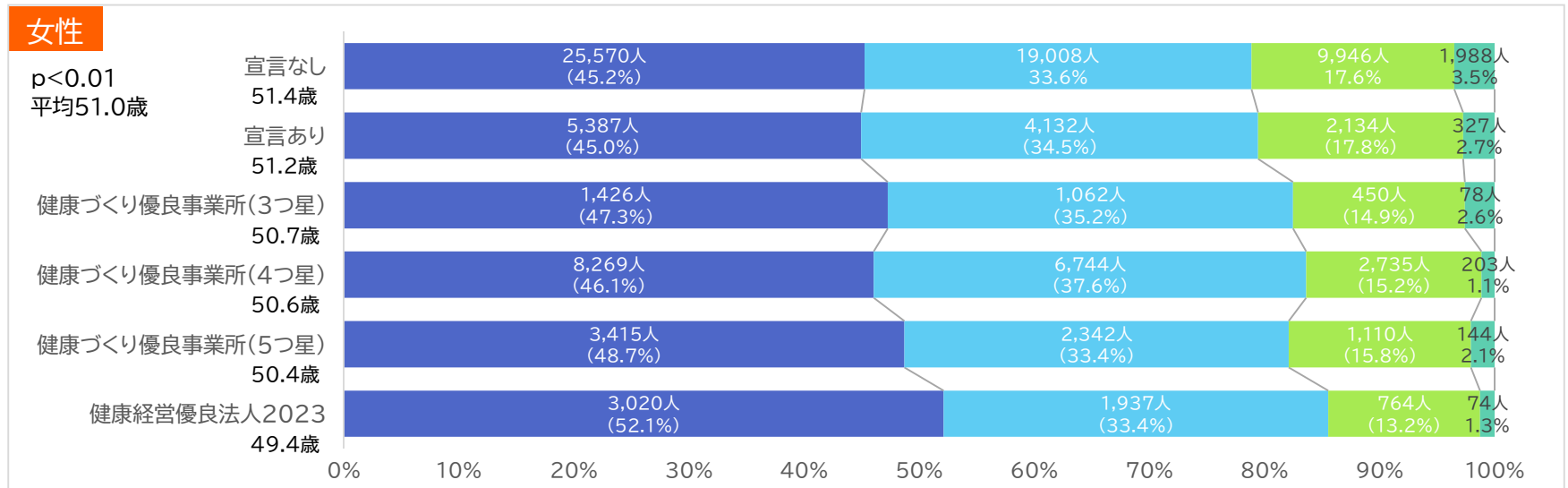
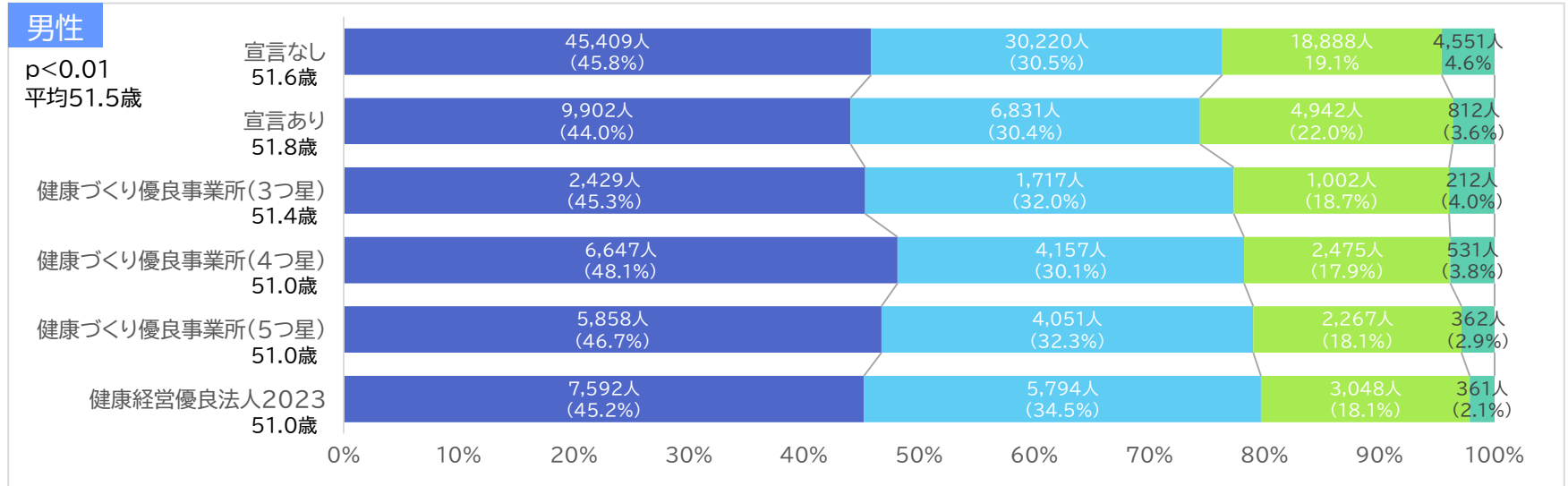
・SPSS Statistics 26を使用 (有意水準  $p < 0.05$ )

・解析対象には、加入者情報・健診情報等に欠損のある者を除外した

# 結果① - ベースラインの比較

## ◆年齢・年齢階級

■ 35-49歳 ■ 50-59歳 ■ 60-69歳 ■ 70歳以上



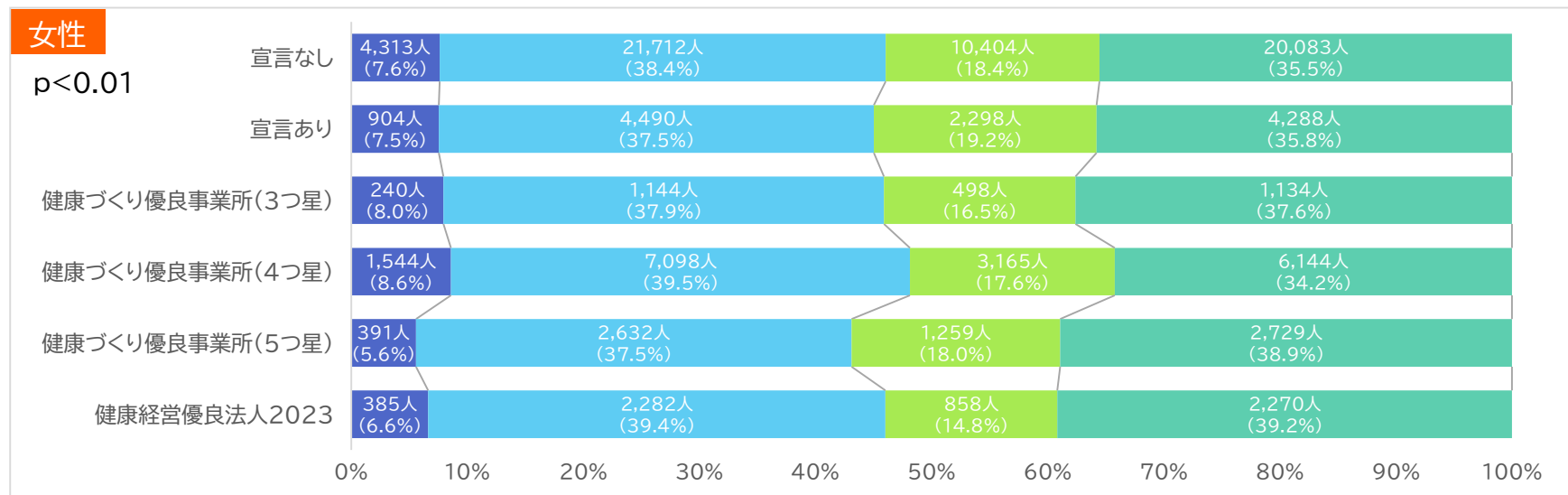
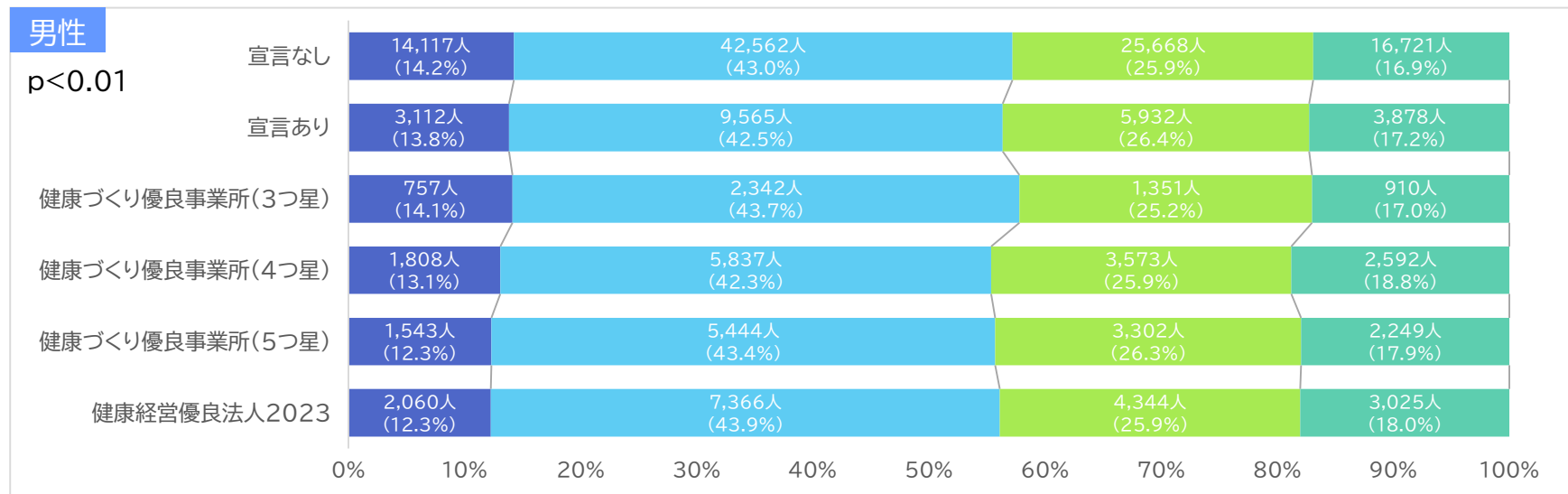
χ<sup>2</sup>検定、一元配置分散分析

男女とも、健康づくり優良事業所(3つ星)以上の認定で年齢が有意に低い

# 結果① - ベースラインの比較

## ◆治療状態

■ 未治療者 ■ 予備群 ■ 治療中者 ■ 異常なし



χ<sup>2</sup>検定

健康経営の取組状況で治療状態の割合に有意差あり

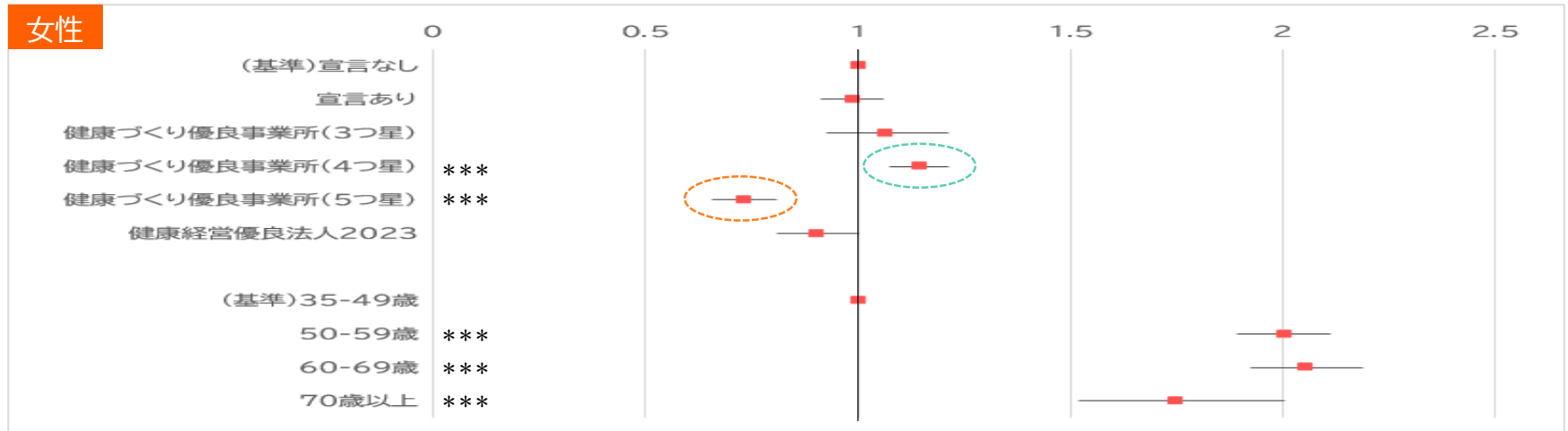
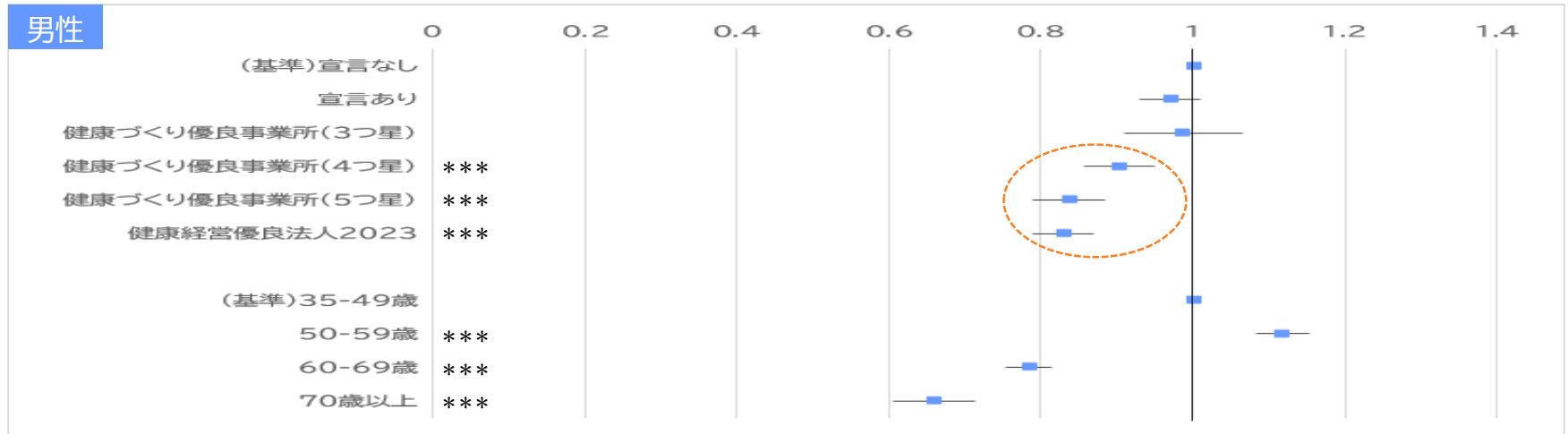
## 結果② - 健康経営の影響

### ◆未治療者

≪男性≫健康経営に積極的に取り組んでいる事業所(4つ星以上)で、「未治療者」が有意に少ない

≪女性≫「未治療者」は、健康づくり優良事業所(5つ星)で有意に少なく、健康づくり優良事業所(4つ星)で有意に多い

\*\*\*p<0.001 ■男性 ■女性



二項ロジスティック回帰分析

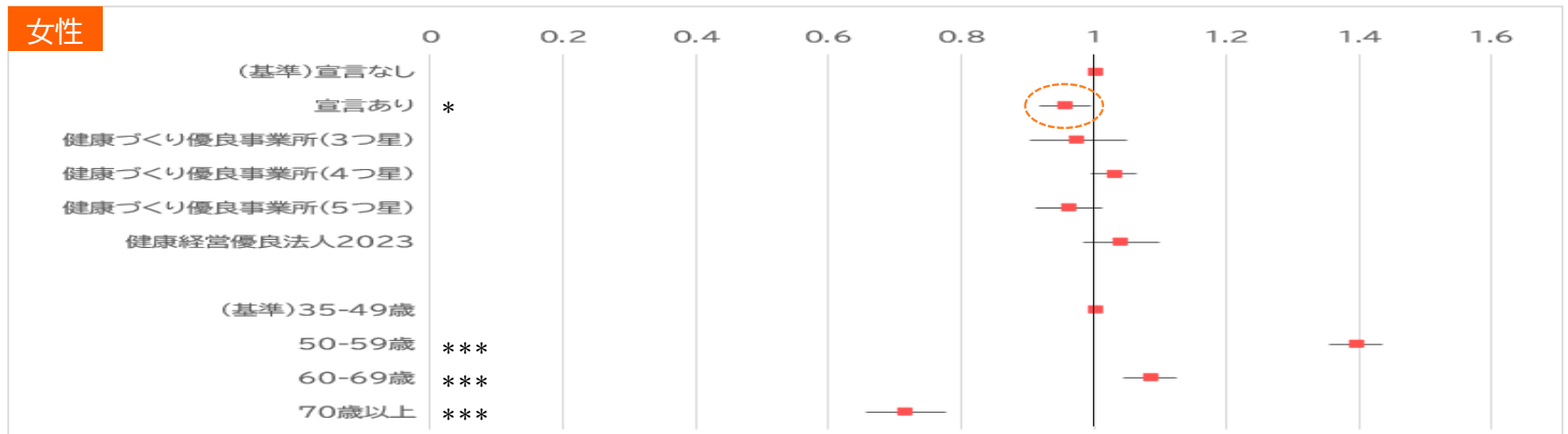
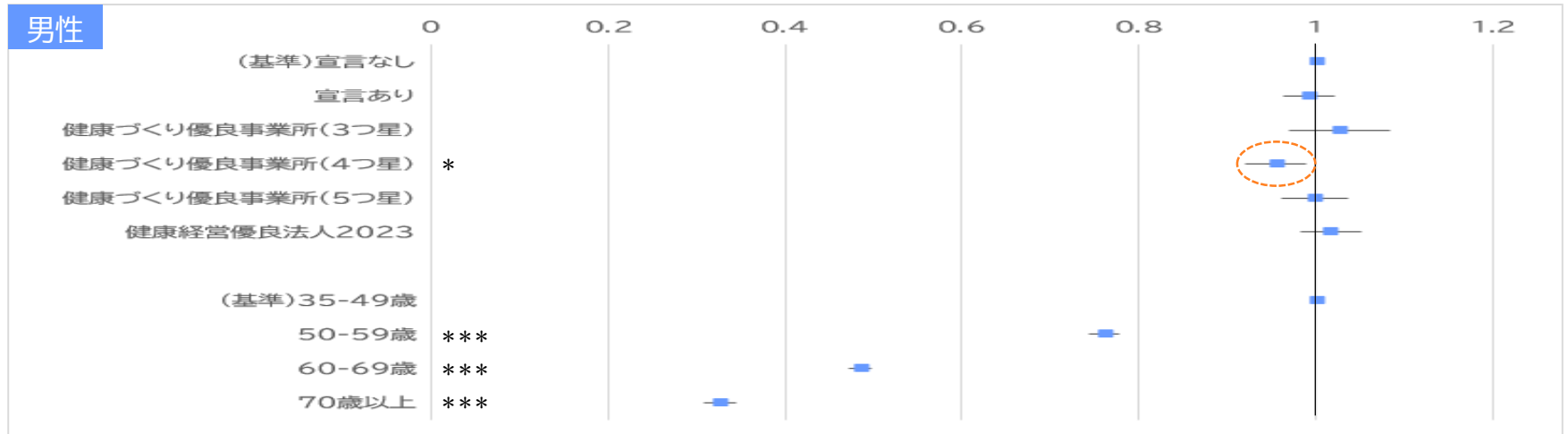
## 結果② - 健康経営の影響

### ◆予備群

≪男性≫健康づくり優良事業所(4つ星)で、「予備群」が有意に少ない

≪女性≫宣言ありの事業所で、「予備群」が有意に少ない

\* $p < 0.05$ , \*\*\* $p < 0.001$  ■男性 ■女性



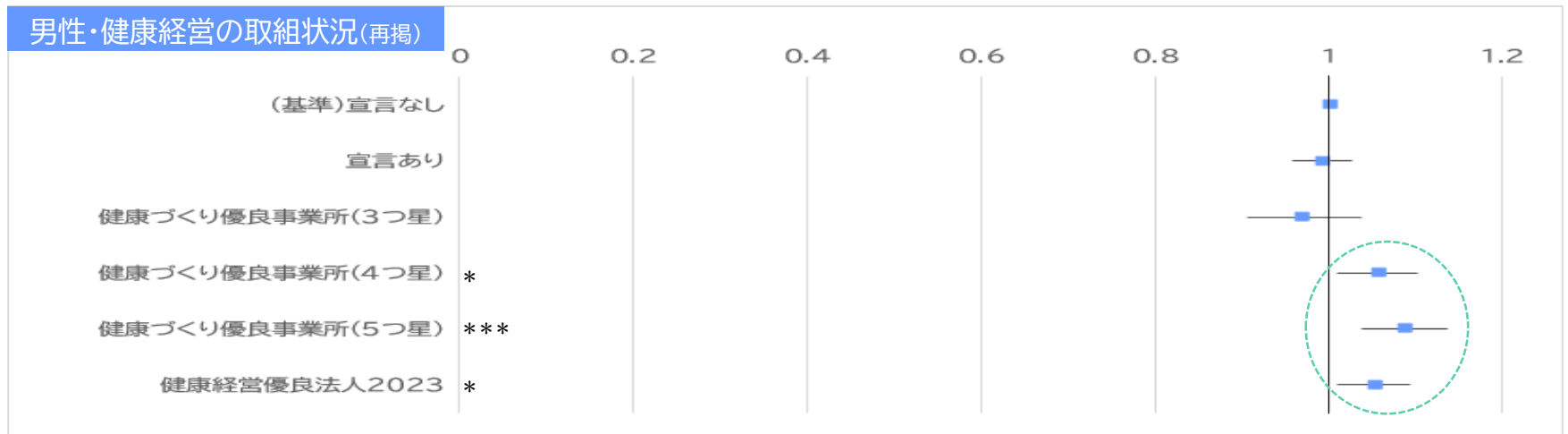
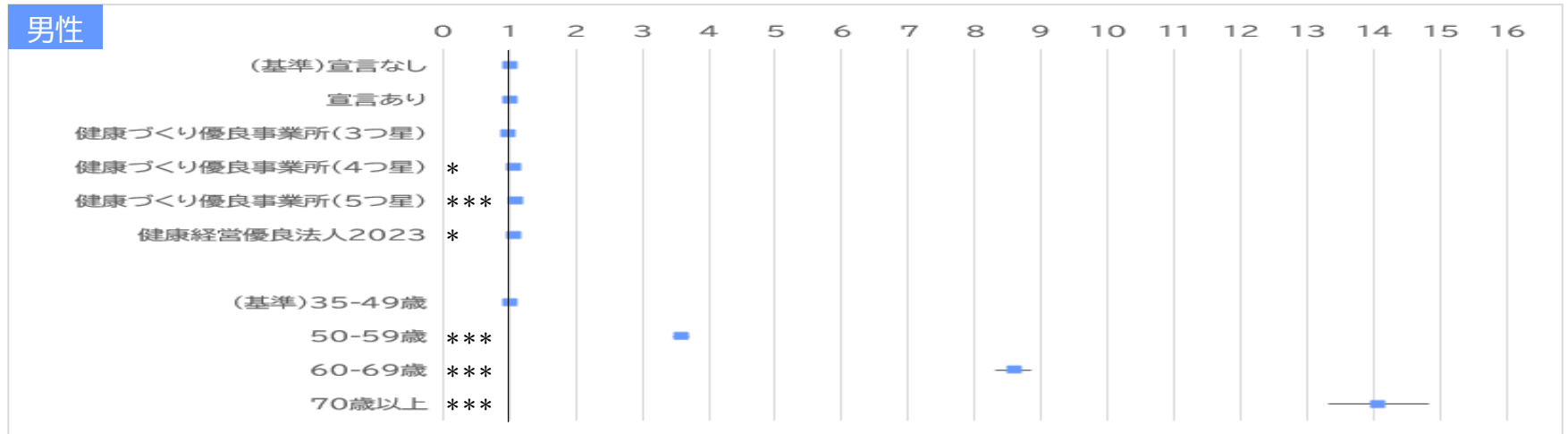
二項ロジスティック回帰分析

## 結果② - 健康経営の影響

### ◆治療中者

≪男性≫ 健康経営に積極的に取り組んでいる事業所(4つ星以上)で、「治療中者」が有意に多い

\* $p < 0.05$ , \*\*\* $p < 0.001$  ■男性 ■女性



二項ロジスティック回帰分析

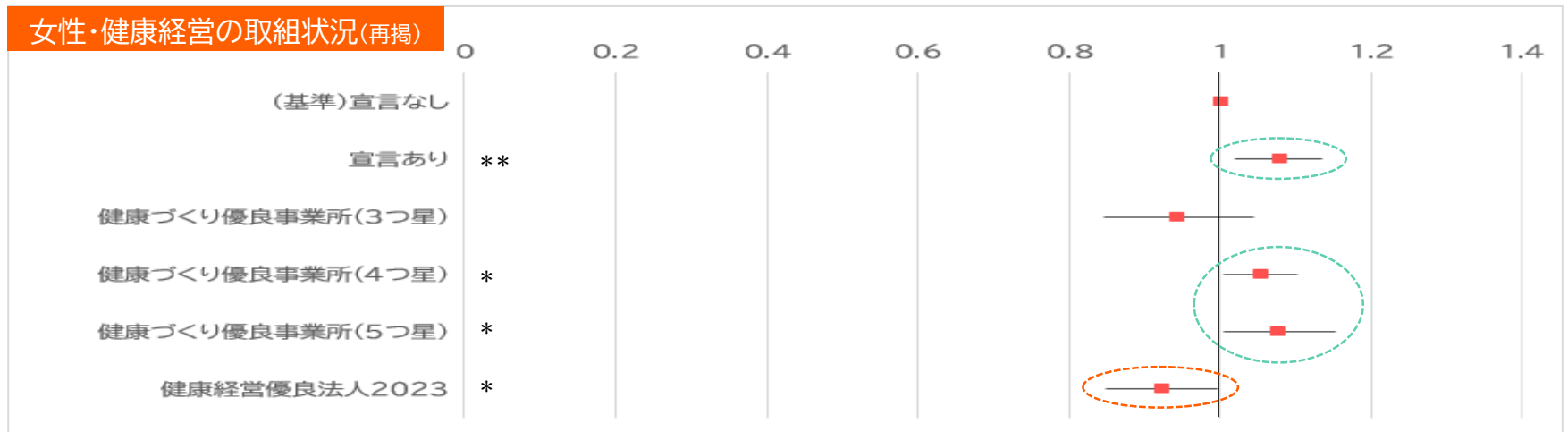
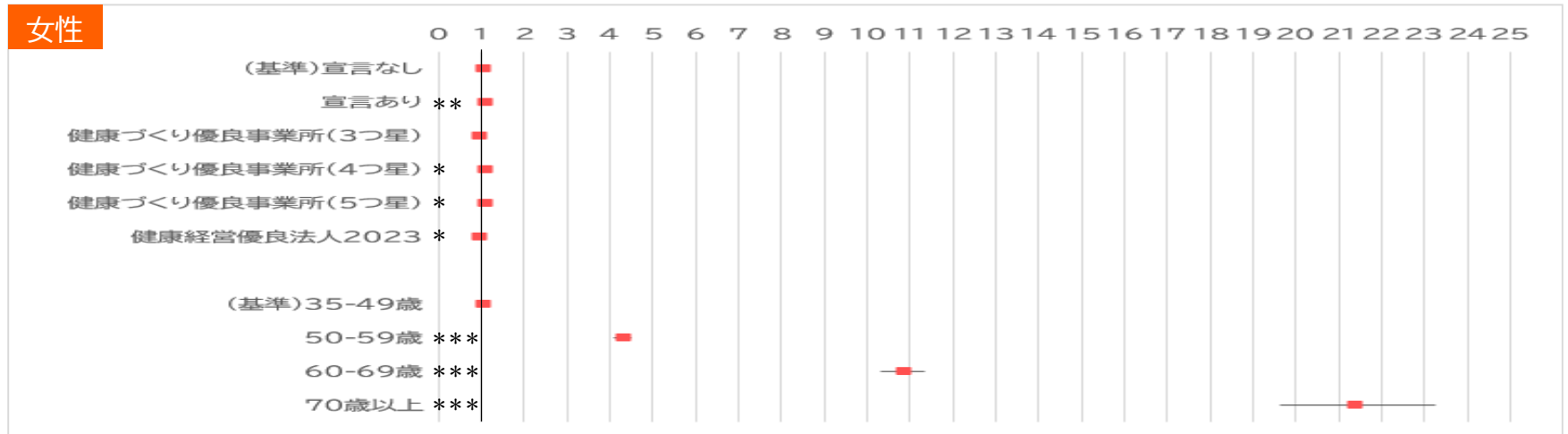


## 結果② - 健康経営の影響

### ◆治療中者

≪女性≫健康経営優良法人に認定されている事業所で「治療中者」が有意に少なく、健康づくり優良事業所(5つ星・4つ星)と宣言あり事業所で「治療中者」は有意に多い

\*p<0.05, \*\*<0.01, \*\*\*p<0.001    ■男性    ■女性



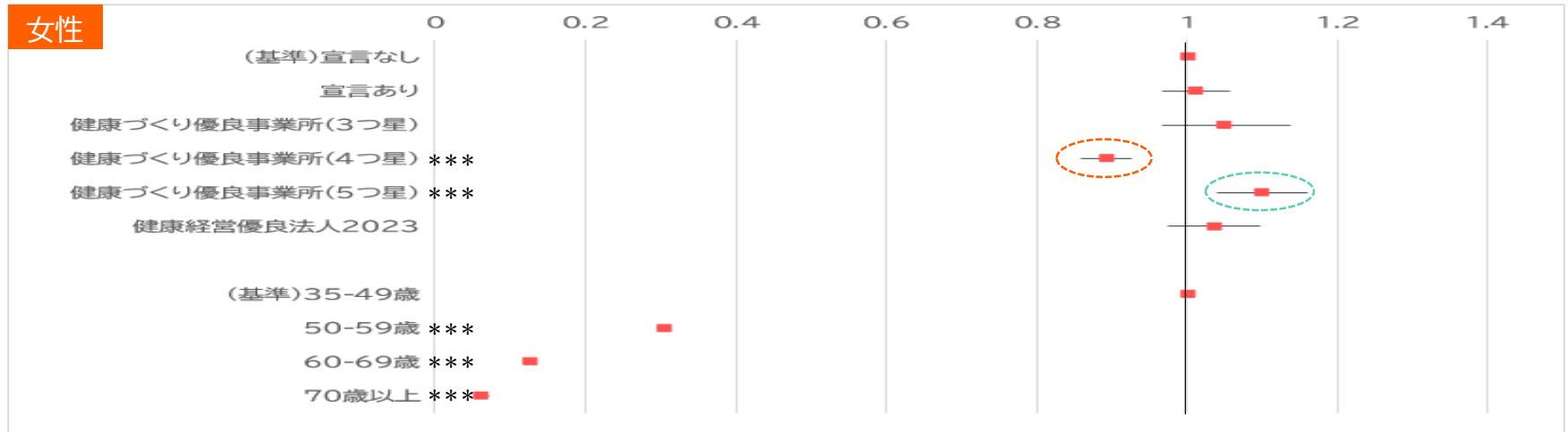
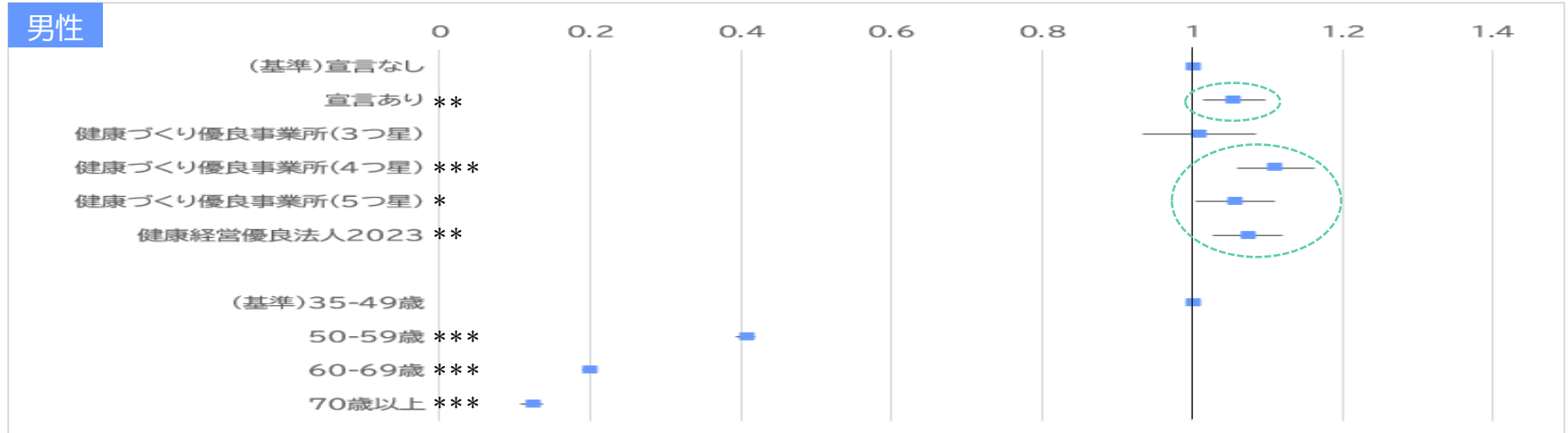
## 結果② - 健康経営の影響

### ◆異常なし

≪男性≫健康経営優良法人、健康づくり優良事業所(4つ星・5つ星)、宣言あり事業所で、「異常なし」が有意に多い

≪女性≫「異常なし」は、健康づくり優良事業所(5つ星)で有意に多く、健康づくり優良事業所(4つ星)で有意に少ない

\* $p < 0.05$ , \*\* $< 0.01$ , \*\*\* $p < 0.001$     ■男性 ■女性



# まとめ

## ◆健康宣言:

ベースラインにおいて、健康経営の取組レベルによって、年齢及び治療状態の割合に有意差が見られた

## ◆未治療者:

男性は、4つ星・5つ星・健康経営優良法人認定事業所で、「未治療者」が有意に少ない

女性は、5つ星事業所では「未治療者」が有意に少ないが、4つ星事業所では、「未治療者」は有意に多い

## ◆予備群:

男性は、4つ星事業所で、「予備群」が有意に少ない

女性は、宣言あり事業所で、「予備群」が有意に少ない

## ◆治療中:

男性は、4つ星・5つ星・健康経営優良法人認定事業所で、「治療中」が有意に多い

女性は、健康経営優良法人認定事業所で「治療中」が有意に少なく、4つ星・5つ星事業所で「治療中」が有意に多い

## ◆異常なし:

男性は、宣言あり・4つ星・5つ星・健康経営優良法人認定事業所で、「異常なし」が有意に多い

女性は、5つ星事業所で「異常なし」が有意に多く、4つ星事業所で「異常なし」が有意に少ない

## 【今後の課題】

- ・今回の分析では、会社の規模や治療状態の関係を十分に検討できていないため、今後の課題としたい。
- ・健診結果を経年で比較し、宣言や認定を受ける前と比較して「未治療者が減り、治療中が増えた」等の変化があるかなどの分析手法についても検討していきたい。